

# 新年のごあいさつ



南越前町長

川野 順万

新年あけましておめでとうございます。町民の皆様方には、輝かしい新年をご家族お揃いでお迎えのこと、心からお慶び申し上げます。

また、日頃は町政に對しまして、温かいご支援とご協力を賜り、衷心より厚く御礼申し上げます。

さて、平成の大合併に誕生いたしました南越前町が本年1月1日に誕生10周年を迎えました。この節目となる機会に新町誕生から10年間の歩みを振り返り、昨年10月より実施している記念事業を本年9月末まで引き続き開催を予定しております。このような中、合併10周年記念式典を昨年10月26日に挙行いたしましたところ、西川一誠福井県知事様、山崎正昭参議院議長様をはじめ国会議員様の皆様など、多数のご来賓の皆様には、ご多用中のところご臨席賜り、誠にありがとうございました。また、町議会議員及び町内の各団体を代表される多くの皆様にご列席を賜り、皆様とともに10周年をお祝いできましたことは、私の大きな喜びとするところであり、心から厚くお礼申し上げます。

# 年頭にあたり



南越前町議会議長

小山 喜一



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様には、希望に満ちた新春をお健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃より、町政の発展と議会運営に對してご理解とご協力をいただき、深く感謝を申し上げます。

平成の大合併で新しいまちづくりの一步を力強く踏み出して早くも十年目を迎えたわけです。

その当時私どもも合併をしたならば少しは財政も安定するのでは、と希望を持ったところでした。

また、式典におきましては、合併後に町政発展のため献身的にご尽力されました方々のご功績に對し、功労の表彰を執り行いました。受賞された皆様には、各分野において多大なご功労とご活躍を賜り、町民を代表しまして敬意とお喜びを申し上げますとともに、今後益々の活躍を念ずる次第であります。

この10年の歩みを振り返りますと、旧3町村それぞれの長く真摯で尊いまちづくり、行政の積み重ねの中、合併協議会で策定された新町建設計画の基盤の上に新たに町総合計画が策定されました。また「海と緑と歴史の恵みに抱かれて、出会いから活力の花ひらく町」を基本理念とともに、合併によるメリットを最大限に発揮しながら、さらに新しいまちづくりを進めていくキーワードとして「対話」「調和」「融和」の三つの言葉を施策展開の基本として、これからのまちの姿を示し、あらゆる分野において町民の皆様とともに新町の基盤づくりに懸命に取り組んでまいりました。

その、町総合計画の最大の目玉的事

業である、国道305号の「ホノケ山トンネル」が、一昨年11月4日に供用開始となりました。この道路の開通により道路のネットワークが向上し、北陸自動車道の今庄インターチェンジや南条スマートインターチェンジと越前海岸とのアクセスが飛躍的に向上いたしました。この道路の開通は、なんと言いまして一番は、南越前町が合併をなした証しであります。このトンネルは、地域間の連携をさらに深めるとともに、行政運営、観光、産業の振興、そして地域防災など様々な面においても大きく寄与するものと期待しております。

次に、若者定住化促進対策事業といましては、定住人口の減少を最小限にとどめることであります。本町の人口は、合併時の国勢調査では12,274人であり、当時の推計では10年後の平成27年には5%の減で、11,652人と予測されておりました。しかしながら26年10月1日現在の住民基本台帳では11,316人となり当時の予想より人口減少は早く進んでいるのではないかと考えられます。このような中、人口流出を抑え定住化の促進を図るため、「ニュータウンわきあいあい」「丸山団地」「桜町駐車場の跡地」に町営住宅の建設、及び、定期借地権制度による宅地貸付を進めてまいりました。また企業者等が未使用の空き工場を活用し新たな雇用の場の確保及び産業の振興を図るための企業的園芸確立支援事業の採択を受け雇用の場の拡大など、定住人口減少の歯止め政策を行ってまいりました。

また、誰もが安全で安心して暮らしていくために自然災害や、原子力災害、そして、防犯や交通安全など暮らしの

安全対策を推進し、総合的な町民の安全確保図ってまいりました。具体的な事業といたしましては、防災行政無線整備の着手、地域防災計画の推進、特に、原子力準立地連絡協議会の中での協定書の見直し、地域防犯体制の充実等推進を進めてまいりました。

その他にも、懸案の多くの事業を推進しながら、併せて財政健全化も図ってまいりました。

いずれの事業も、大変厳しい社会経済の状況が続く中、町民の皆様と議会・行政が一体となって着実に推進してまいりました。しかしながら、まだまだ多くの課題が山積しており、新たな課題にも対応していかなければならないことも肝に銘じております。

さて、これからの10年を展望いたしますと、若者を中心とする人口減少への対策、また、少子・高齢化に對したまちづくりが、一層重要であります。

このような時こそ、学校教育並びに地域力の向上を図り、生活環境を向上させ、いつまでも住み続けたいまちづくりを推進し、多くの人に愛される郷土づくりを目指してまいります。

また、関係者各位、行政機関、そして何より町民の皆様とともに、日頃から心と力を寄せ合っていくことが大切であります。今後、町民の皆様とともに、大きな未来の可能性と発展への道を力強く進めてまいりたいと考えております。

町民の皆様方には「はばたこう！」さらに10年後の南越前町へ」に對してお力をお貸しいただきますようお願い申し上げます。

しかし、年々地方への財政的支援は縮小され地方交付税にいたっては、極端に縮減されました。自主財源の少ない当町では、財政の面においては極めて厳しいものとなっており、長引く景気の低迷や少子高齢社会の到来など、さまざまな課題に直面し、今まさに、まちづくりのあり方そのものが大きく問われております。

こうした厳しい環境を乗り越え、魅力あるまちづくりを進めていくためには、時代を見据えた情報分析に力点を置き、町執行部と互いに知恵を出し合いながら町民参画の町政運営に取り組

まなければならぬと考えております。

合併10年を迎え、町議会といたしましても、その役割と責任の重さを自覚し、決意も新たに町議会の活性化と改革に取り組み、南越前町をさらに魅力ある「まち」にするため全力を尽くしてまいる所存でございます。

どうかこれからも力強いご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます、新年にあたってのご挨拶とさせていただきます。